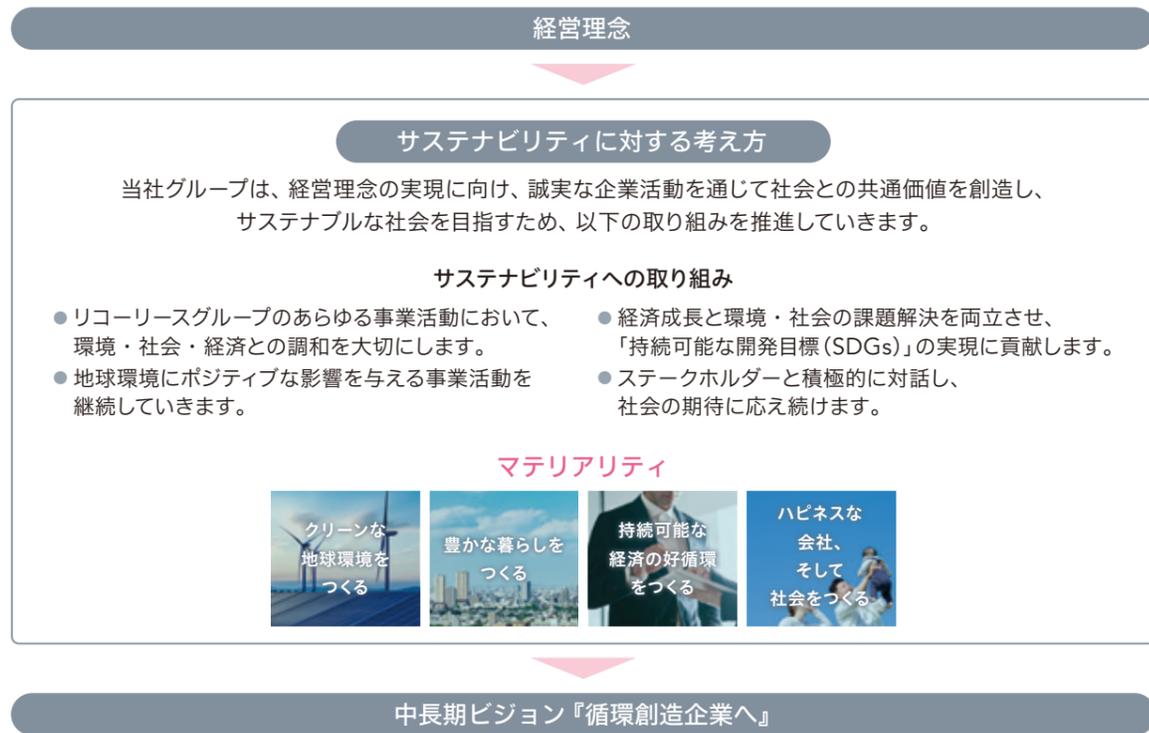


サステナビリティ経営の推進

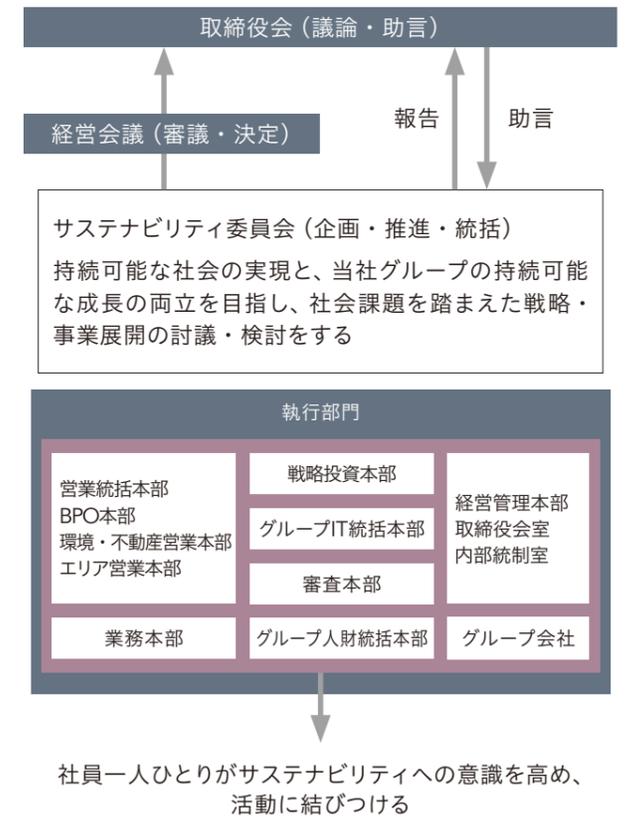
リコーリースグループは、経営理念を最上位概念として、サステナビリティに対する考え方のもと、マテリアリティへの取り組みを通じて、サステナビリティ経営を推進していきます。

サステナビリティ経営全体像



サステナビリティ推進体制

当社グループは、持続可能な社会の実現と当社グループの持続的な成長を目指し、サステナビリティ経営を継続して推進していくために「サステナビリティ委員会」を設置しています。サステナビリティ委員会は、社長諮問機関として、常務執行役員以上およびサステナビリティに関連する本部長ならびにグループ会社社長により構成され、サステナビリティ経営の基本方針・基本計画などの立案や、経営方針および事業活動に対して、サステナビリティ視点で討議し、検討を行っています。



討議検討事項は経営会議にて審議・決定されたのち、決定事項は取締役会に共有され、取締役会の総意として助言がなされています。

サステナビリティ委員会概要

委員長	サステナビリティ担当役員
メンバー	営業統括本部長 BPO本部長 環境・不動産営業本部長 エリア営業本部長 業務本部長 審査本部長 グループ人財統括本部長 グループIT統括本部長 戦略投資本部長 経営管理本部長 テクノレント社長 エンプラス社長 Welfareすずらん社長
開催頻度	四半期ごと1回

マテリアリティ見直しプロセス

2020年度に外部環境や事業環境の変化を踏まえ、マテリアリティを見直し、4つのマテリアリティを特定しました。

01 課題の把握と整理

事業環境や、SDGsをはじめとした外部環境の変化を分析し、当社グループに関連する課題を整理

02 重要性評価

整理した課題について、当社グループとステークホルダーに与える影響などの重要性を評価・検証し、マテリアリティマトリックスを作成

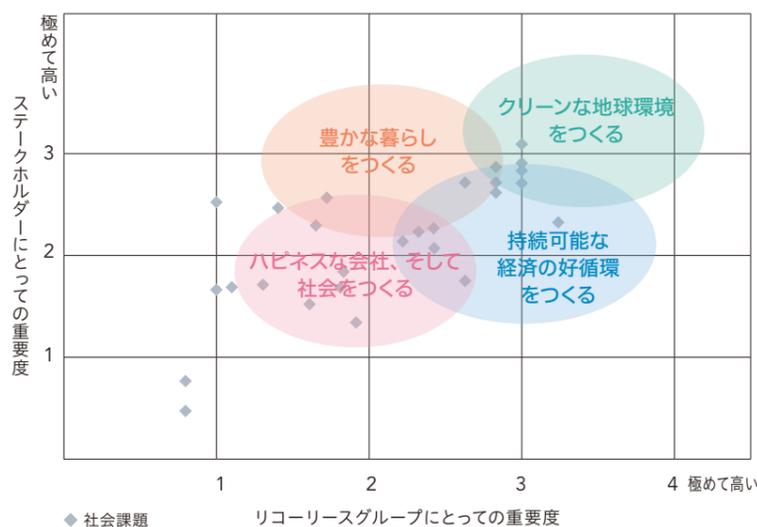
03 妥当性評価

サステナビリティ委員会で、社内関連部門や外部識者と意見交換を重ね、課題の妥当性や整合性を検証

04 重要課題の特定

取締役会での決議を経て、4つのマテリアリティを特定

マテリアリティマトリックス



当社グループのサステナビリティに関する主な議論

取締役会	2023年9月	サステナビリティ委員会報告 (第12回、第13回)
	2024年1月	サステナビリティ委員会報告 (第14回)
	2024年3月	統合報告書2024制作方針について (報告)
経営会議	2023年5月	①環境マネジメント: 2022年度目標修正・2023年度目標値 (承認) ②非財務目標の設定 (討議) ③統合報告書制作 (討議) ④コンプライアンス定期報告 ⑤中期経営計画重点テーマ検討会 (討議)
	2023年7月	①統合報告書における非財務目標開示 (承認) ②中長期 CO ₂ 排出量削減目標 (スコープ1、2) の改訂 (承認) ③FIT非化石証書代理購入サービス導入 (承認)
	2023年8月	①非財務目標設定 (承認) ②「豊かな未来積立金」災害義援金寄付の実施 (承認)
	2023年9月	人権デューデリジェンス構築 (承認)
	2023年11月	コンプライアンス定期報告
	2024年3月	統合報告書2024制作方針について (承認)
サステナビリティ委員会	第12回	①環境マネジメント: 2022年度実績報告と2023年度目標値設定
	2023年5月	②CDP (気候変動プログラム) 調査対応 ③非財務目標の定量化検討
	第13回	① (有識者講話) 生物多様性へ取り組み ②人権デューデリジェンスの取り組み
	2023年7月	③非財務目標のアウトカム・インパクト検討
	第14回	①環境マネジメント: 2023年度上期EMS実績進捗
2023年11月	②中期経営計画: 非財務目標の2023年度上期進捗	
第15回	①環境マネジメント: 中長期 CO ₂ 削減施策、インターナルカーボンプライシング、プラスチック資源循環促進法	
2024年2月	②2024年度サステナビリティ委員会運営体制検討	